

WLB（ワーク・ライフ・バランス）推進活動

ふくの若葉病院

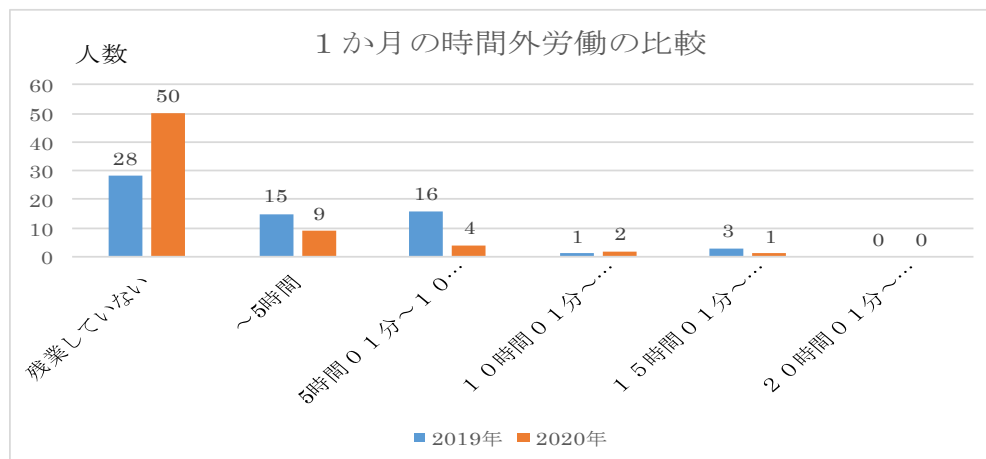
富山県看護協会と県が協働して「医療勤務環境改善センター病院サポート事業」として看護職員の就労環境改善の推進に、当院は2019年度より2年間参加しました。新事業として中小・民間病院を対象に訪問型のWLB推進事業です。

ビジョン（組織が目指す将来像）

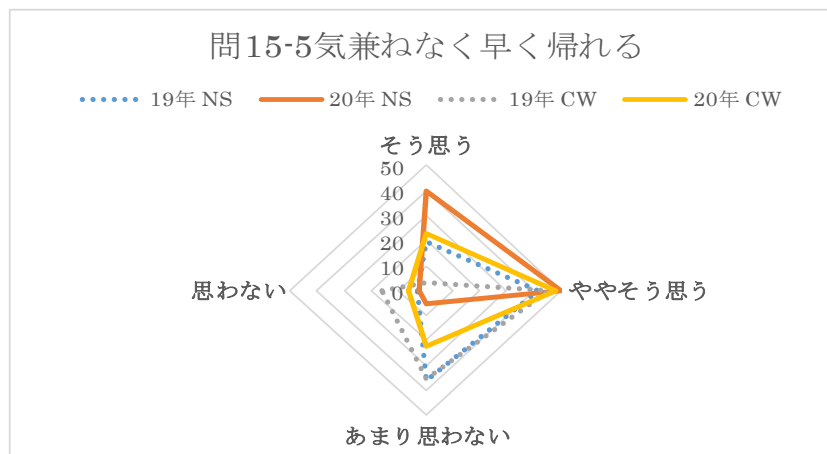
職員が健康で安心して、やりがいをもって働ける職場づくりを目指す

2年間の取組みの成果

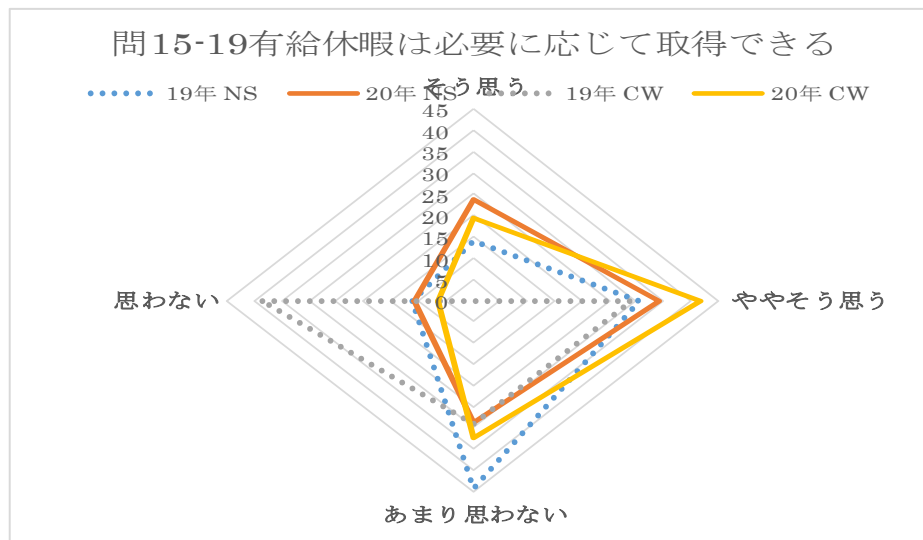
1. 大幅な業務改善、申し送りの短縮、情報収集や準備のため朝の申し送り時間を10分遅らせ前残業を廃止、食事介助など忙しい時間帯に早出・遅出職員を増員したことで、時間外労働が短縮できました。「残業していない人」が増えました。



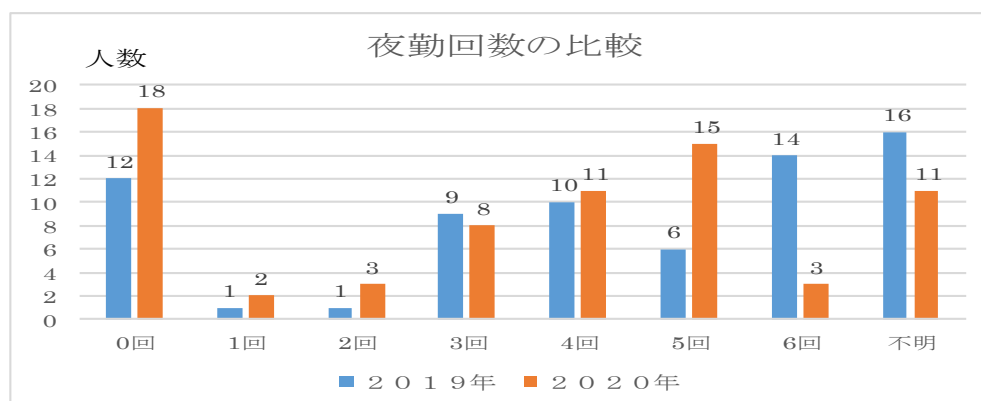
2. 業務が終われば気兼ねなく帰れる風土ができてきました。時間外労働の指示が明確になり「定時に帰る」という労働時間に関する職員の意識が向上してきました。



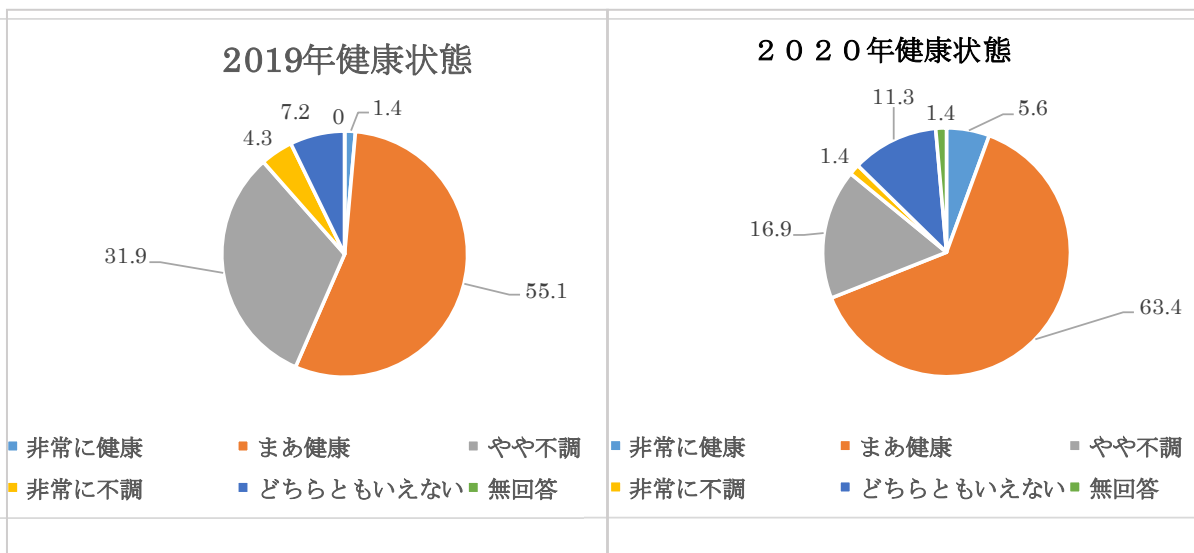
3. 有給休暇は必要に応じて取得できるようになり、年5日間以上は全職員が達成できました。「育児・介護・看護休業について」の研修を開催し認知度を上げました。子の看護休暇や親の介護休暇なども取りやすくなりました。



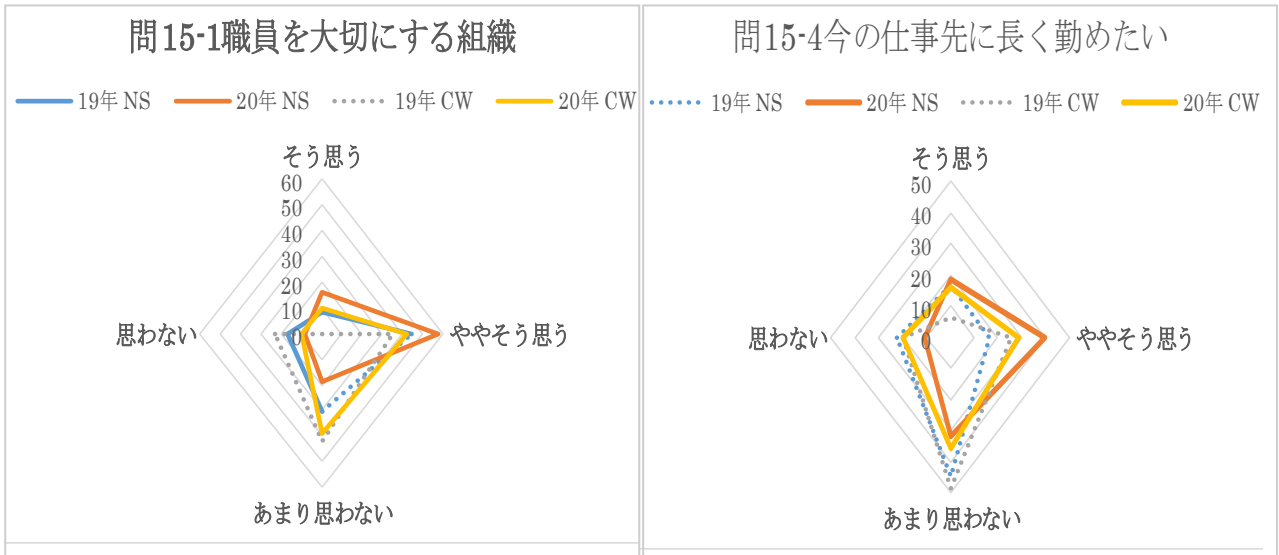
4. 夜勤ができる職員が増え、一人あたりの夜勤回数を減らすことが出来ました。



5. WLB推進活動を通して、職員の健康状態が改善してきました。「非常に健康」「まあ健康」が69%で、職員の3分の2が健康状態です。



6. WLB 推進活動を通して、福利厚生や職員への支援制度、キャリアアップの支援などを
 知ること、「職員を大切にしている組織である」と感じる職員が増えました。さらに、「今の
 勤務先にできるだけ長く勤めたい」と思う職員も増えてきました。



7. ワーク・ライフ・バランス推進事業の支援者の方々のご意見や感想

- ・職員の方でもものすごい働き方改革をされました。
- ・小さなことでも一つひとつ丁寧に取組まれたことが、成果に繋がったと思います。

院長の感想

以前はネガティブに考える職員が多くて、「できません」「無理です」という言葉をよく聞きました。WLB 推進事業の取組みを通して、職員が理論的・建設的な意見に変わってきて、いきいきしていると感じます。

8. WLB ニュースで全職員へ WLB 推進活動の進捗状況をタイムリーに発信しました。

ワーク・ライフ・バランスニュース 第1号

ワーク・ライフ・バランスニュース 第2号

ワーク・ライフ・バランスニュース 第3号

ワーク・ライフ・バランスニュース 第4号

WLB知ってますか?

WLBの取り組み情報

看護サービスの充実

看護体制の検討

看護員の負担軽減

看護サービスの充実

看護体制の検討

看護員の負担軽減

看護サービスの充実

看護体制の検討

看護員の負担軽減

9.ワーク・ライフ・バランス推進活動を通し、4つの歯車が職員の力で動き出し、WLBビジョンに繋がり始めてきました。

WLB2年間の取組みの成果

WLB推進活動を通し、4つの歯車が職員の力で動き出し、WLBビジョンに繋がり始めた



10. 今後の展望

今後、ワーク・ライフ・バランスの活動は、業務改善委員会を中心に活動を続けていきます。時間外労働や長時間夜勤、夜勤回数の負担など習慣化した働き方から、働く職員の健康生活の満足度をより優先的に考える働き方に価値を置き、多様な働き方を可能にする職場づくりを実現することを目指していきます。